

令和4年度
事業計画書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

1 演奏事業	01~02
2 名フィル魅力向上事業	02
3 音の向上基金事業	02
4 エール基金事業	02

令和4年度 事業計画

名古屋フィルハーモニー交響楽団（以下名フィル）は、昭和41（1966）年に創立した歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与するため、小泉和裕音楽監督のもと公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行う。

なお、令和4年度も新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、各種ガイドラインを踏まえながら、事業計画に基づきそれぞれの事業を実施する。

1 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

ア 定期演奏会 27回

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催する。

愛知県芸術劇場においては、12人のシンフォニスト（交響曲作曲家）たちの代表的な交響曲を軸にプログラムを組んだ定期演奏会を、11回22公演開催する。

日本特殊陶業市民会館では市民会館名曲シリーズとして、ハンガリー、フランス、イタリア、ロシア、ドイツに関連した作品を演奏する「欧州音楽紀行」を5公演開催する。

イ 巡回演奏会 9回

地方自治体等の依頼により、愛知県内外の市町村において開催する。

ウ 移動音楽教室 32回

未就学児及び小・中学生、高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催する。

エ 特別演奏会 19回

毎年恒例となっている「第九」「クリスマス」「豊田市」「東京」などの公演に加え、新たに1日で昼夜2公演を開催する「しらかわエクスプレス」をスタートさせるほか、昨年度好評であった「こども名曲コンサート」を2公演に増やして開催する。また、障がいのある方などを対象とした「福祉コンサート」の開催を検討する。

オ 依頼演奏会 20回

企業・団体等の依頼により開催する。

合 計 107回

(2) アンサンブル（小編成の室内楽）事業等

多くの事業を中止した令和2,3年度に続き、令和4年度も新型コロナウイルスの感染状況を注視し、各事業の開催可否を検討していく。

ア サロンコンサート・ロビーコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を開催するほか、定期演奏会の開演前に、演奏会場のホワイエにおいて「ロビーコンサート」を開催する。

イ まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントなどと連携して実施する。

ウ 依頼室内楽演奏会

企業や団体等からの依頼によるアンサンブルの演奏活動を実施する。

エ 公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルの認知度を高めるため、「公開リハーサル」を開催する。

オ 楽員講師派遣事業

小・中学校に楽員を講師として派遣し、演奏とともに音楽の魅力などを伝える。

カ 名フィルの日

ファン感謝デーとして、楽員による一日限りのアンサンブル・コンサートを実施する。

2 名フィル魅力向上事業（海外公演）

平成 16（2004）年以来のヨーロッパでの海外公演として、令和 5（2023）年 2 月において、名古屋市の姉妹都市であるランス（フランス）、トリノ（イタリア）の 2 都市に加え、スイス、ドイツ等の国を訪問して公演を実施する（期間はおよそ 2 週間の予定）。

3 音の向上基金事業

名フィルの一層の音の向上を図るため、「音の向上基金」を活用して、世界的に著名な指揮者及び演奏家の招聘を行うほか、海外公演を実施する。

(1) 指揮者の招聘

令和 2 年にコロナ禍で来日できなかつたロシアの巨匠ヴァシリー・シナイスキーを初招聘するほか、3 回目の客演となるポーランドの名指揮者アントニ・ヴィットを招聘する。

(2) 演奏家（ソリスト）の招聘

令和 3 年のショパン・コンクールで第 2 位に輝いたアレクサンダー・ガジェヴと、グラミー賞受賞で話題となったアタッカ・カルテットを招聘する。

(3) 海外公演の実施

前述の海外公演は「音の向上基金」を活用して実施する。

4 エール基金事業

楽員の演奏技術向上等を図るため、「エール基金」を活用し、楽器購入、海外留学及びリサイタル活動に必要な資金を貸し付ける。